

なんだ・かんだ

◆ デジタル遺品 ◆

日経新聞に「大活時代」というテーマで「あなたはパソコン、スマートフォンを残して死ねますか」という記事が載っていました。ここ最近私が思い悩んでいる難題がそのまま記事になっていたのには驚きました。やはりかなりの方が同じ悩みを持っていらっしゃるのでしょう。

パソコンなどに保存している、写真・動画、メール、ネット銀行のIDやパスワードなど、個人情報にかかわるデータを「デジタル遺品」というそうです。このデータを自分が死ぬ前にどうすべきかが問題です。

デジタル遺品について、パソコンのIDやパスワード、消してほしい写真やメール、その保存場所等を1冊に細かくまとめてみようと思うと、「書き出すパスワードが多く、写真データは膨大で取捨選択も難しい」となかなか書き込みが進まないそうです。

そしてデジタル遺品は「写真やメールより、交流サイト(SNS)や有料コンテンツの方がやっかい」ということです。SNSのアカウントなどは、死後も本人のもので、基本的には相続や譲渡はできない。無料対話アプリ「LINE」は、規約でアカウントを「一身帰属」と定め、身内がアカウントを消せるが、手続きは煩雑だそうです。こういったサービスの多くは、死後の扱いを想定していない様です。

更に頭を悩ませるのは、「家族にも知られたくないデータ」です。同時に、遺族にしてみれば「知りたくなかった」データかもしれません。

翻って自分のデジタル遺品について考えてみると、インターネットで利用しているサービスのIDとパスワードだけでも相当あります。アマゾン等の買い物サイト、銀行の口座、その他の金融関係、ストレージ(ネット上のデータ保存場所)、携帯電話、カード、お財布携帯、新聞のネット版等々挙げだしたらきりがありません。フェイスブックやLINEのトークの中には、飲み屋のお姉さんからのメッセージまで……。写真に至っては大量にあります(なんせ携帯電話で撮った写真は自動的にネットに保存されてしまので)。おまけに私の場合は、会社関係のデジタル遺品もこれにプラスされます。

性格にもよりますが、往々にして人は年齢を重ねるごとにものが捨てられなくなり、「もったいない」「何かのために取っておきたい」という理由で、ものがどんどん増えてしまいがちになるようです。ゴミ屋敷とまでは言いませんが、身の回りにどれだけ不要なものが溢れていることでしょう。特に物理的な場所を取らないパソコンの中身は加速度的に増殖しています。

やはり生前整理、断捨離が必要です。自分が死ぬ前に不用品の処分や財産の整理を行い、自分の死後に相続のトラブルなどが起こらないように、死後明かされる不必要なもの、パンドラの箱は残さないようにしなければなりません。

年を取れば取るほど、整理整頓をする体力や要不要の判断力が落ちてきます。また、不要なものに囲まれている環境は、快適とは言えません。そして、自分が死んだ後のことを不安に思いながら生活していかねばならないのも楽しくありません。

身の回りをきれいに。シンプルライフへの移行が必要です。



■ 危険物倉庫の新設 ■

8月から当社の敷地内において危険物倉庫の新設に掛かっています。敷地内駐車場の一部に建てるのですが、社有車の駐車台数が減るので、先ずは40年ほど前に増設した倉庫を解体し、駐車場を作るところから始めています。実際の危険物倉庫の建設工事は来月半ば以降からとなります。工事中来社頂く方にはご迷惑をお掛け致しますがご容赦願います。

塗料や溶剤の扱量の増加や切削剤などドラムで在庫する事が増えた事が新設する理由です。危険物貯蔵は規制が厳しく、近頃は企業の遵法について問われる時代です。コンプライアンスにもお金が掛かります。

製造業の国内回帰

迷走台風や連日降雨の新記録など、8月は青空をどれくらい見たでしょう。立秋を過ぎるの上ではもう秋ですが、未だに蒸し暑い日が続いています。二四節季では8月の後半に「処暑」となります。「処」とは止まるという意味で、例年この時期から本州当たりでは熱帯夜から解放される日が多くなり、朝晩も過ごしやすく、秋の虫もさえずり始める時期です。しかし異常気象の二数年は当てはまらないようです。

さて新聞の記事に、日本企業が海外の現地法人から輸入する製品の金額は1年半前より13%減った。田安と中国の人的費用上昇で、コスト面での強みが薄れて、生産の過度な海外移転に歯止めがかかってきた」と報じていました。二何年かの間に、当社のお客様も国内工場を閉め国外へ生産の拠点を移してしまつた会社は1社や2社ではありませんでした。結果それまであったお取引がある日全く無くなってしまつた。また、工場は残つても、規模を縮小しほとんど国内で予算を使わなくなつてしまつた。と言つた事が多くありました。製造業の国内回帰。この状況が定着してくればと思います。

代表取締役 服部 徹一郎

社員ブログ

● 好調 鯉が止らない ● 建設部 大高茂紀

8月に入りカーブが好調です。そういえば、今から一か月前は竜王戦決勝トーナメント、佐々木勇気5段 対 藤井聡太4段が中継されていました。以前から藤井4段は終盤はもちろん、序盤・中盤も強い。と聞いてはいましたが、今回対戦の佐々木5段は高校生で4段プロデビュー。藤井4段の連勝を止めるには、格好の存在と思ひ注目はしていました。

その時のカーブはマツダスタジアムで中日戦。先発の大瀬良がピリッとせず序盤は苦労しました。初回到3点先制され、さらに5回到1失点しランナーを貯めた所での交代。さすがに、大瀬良の連勝も、マツダスタジアムでの中日連勝も止まるかと思つてましたが、8回裏、誠也の逆転3ランがレフトスタンドに入って、見事な寄せ。終盤の強さが際立った試合でした。

一方、夜遅くまで続いていた竜王戦。棋士は個人事業主だから中学生でもOKだそうです。過去に、歌番組への出演が嫌だから労働基準法を持ち出した伊藤つかさを思い出しましたが、この夜に藤井4段の連勝記録が止まりました。

私の気分としては、今の好調のカーブとそれまでの藤井4段の快進撃を称え、矢沢永吉の「止まらないHa-Ha」につけてみると非常に分かりやすく、マツダスタジアムのカーブは試合パフォーマンスなど、矢沢永吉並のズゴさを感じています。9月初旬には首位確定となるでしょうか？



本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思ひます。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/